

矢板CC圧巻4連覇



第5回 栃木県クラブ対抗競技
主催 栃木県ゴルフ協賛会・栃木県ゴルフ協賛会(一社) 栃木県ゴルフ振興基金

鹿沼CC2位

3位は宇都宮CC

ゴルフ
県クラブ対抗

県内トップアマが所属ゴルフ場の名譽を懸けて争う
「第5回県クラブ対抗競技」

4連覇し、優勝カップを受け取る矢板CCの熊耳主将(中央)。左から3人目はCクラスベスコの張田

大会(県ゴルフ場協議会、県ゴルフ場支配人会主催)が29日、宇都宮市の鶴CC(ハイ72)で行われ、矢板CCが3833で4連覇を飾った。14打差の2位が鹿沼CC、3位は宇都宮CCが食い込んだ。
過去最多の昨年と同じ35クラブ、209人が参加。曇り微風のコンディションの中、熱戦を展開した。



準優勝の鹿沼CC



3位の宇都宮CC

矢板CCはCクラスの張田(72)、後藤貴浩が73でけん引。Bクラスの和光

利一が79、Aクラスの柳沼達男は77と4人が70台をマークし、圧勝した。



塩田 勝



大塚俊男

鹿沼CCはCクラスで山田俊明が79、Bクラスの布施政勝が75、Aクラスの橋田透が79と奮闘したが及ばなかった。
宇都宮CCは大家俊男が73、市村恵一が76でチームを引っ張った。上位候補の那須CCは9位、那須小川GCは11位だった。

各クラスのベスコはAクラスが73で塩田勝(那須CC)、Bクラスは大家、Cクラスは張田が輝いた。

矢板CC 14打差、Wエースけん引

3連覇中の王者の強さが際立った。張田巧と後藤貴浩とCクラスにダブルエースを擁し、主将の熊耳邦男は2人がいるから、取りこぼしも補ってくれる「T賞」を贈った。
2年連続Bクラスでベスト

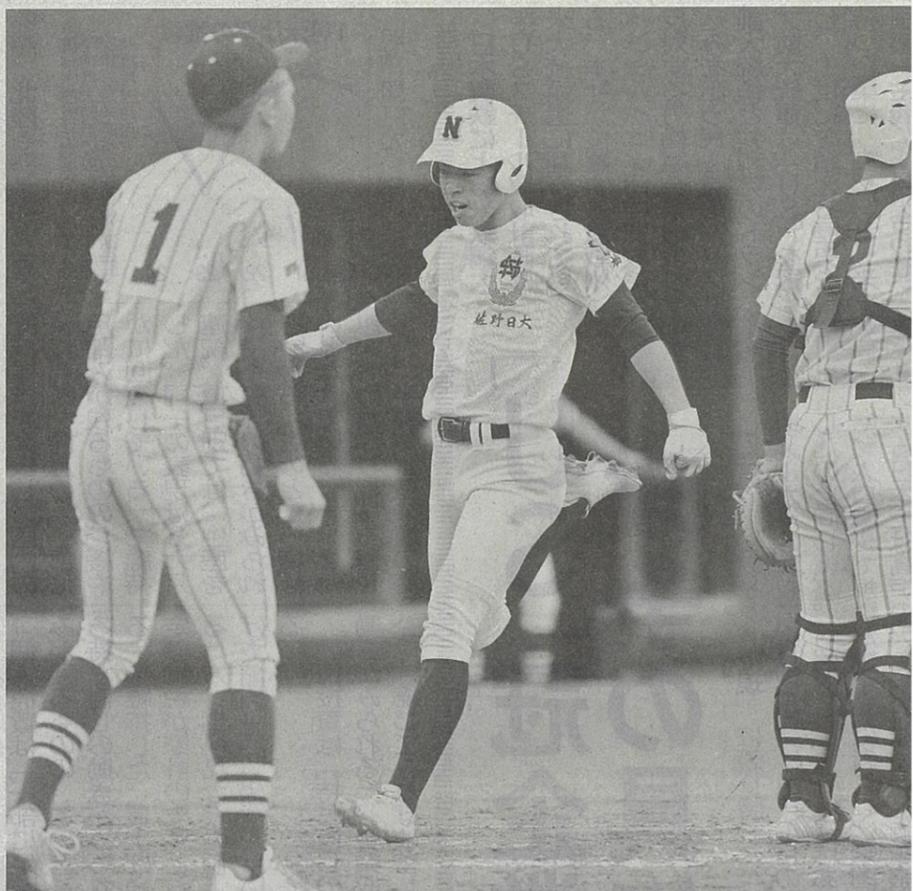
ロッカールーム

グロスの和光利一が79、Aクラス柳沼達男も77とスコアが伸び悩んだが張田、後藤が引っ張り、2位以下を圧倒した。張田は「もう少し伸ばしたかったが、パープレーだから」と納得の表情。後藤も「簡単

にボギーを打つし、短いのが入らず悔しいが、チームが優勝できたのだから」と笑みを浮かべた。
昨年の第4回大会は5人のトータルで3アンダー357の大会レコード。今回は38

3と大幅に下回ったが、2位との14打差は第3回大会の9打差を上回る過去最大差となった。

今回の大会会場はホームの矢板CC。熊耳は「V4が懸かった今回もプレッシャーは相当なものだった。来年は地元で5連覇が懸かるが、必ず達成したい」と力強く宣言した。(井上孝男)



点 七回も2点を取って突一ツ王者に力負けした。一れ無得点。反撃の糸口を
攻守で力の差を見せつけられた。佐野日大は今春センバツ王者の高崎健康福祉大高崎に完敗。序盤で一度はリードしたもののすぐに勝ち越され、突き放された。麦倉洋一監督も「これが実力」と短い言葉で振り返った。
隙のない打線を前に、エース 入洲永俊輔が踏ん張れなかった。初回こそ無失点で切り抜けたものの、一回は2死から四球を与えるなどでピンチを広げて2失点。3-3の三回も2死から四球と連打で2
2回、佐野日大・井上の3点適時二塁打で一走の洲永(中央)が逆転のホームを踏む川崎市の等々力球場、磯真奈美撮影

見せつけられた実力差 来夏へ向け課題鮮明

点を勝ち越された。左腕は「勢いを止められなかった」と視線を落とした。
味方打線もわずか3安打で終わった。2点を追う二回に井上遥翔が一時逆転の適時二塁打を放ったが見せ場はここまで。相手右腕の150キロ超の球に差し込まれる場面が目立ち、桜井剛志主将は「球は見えていたが捉え切れなかった」と唇をかんだ。
6年ぶりに戻ってきた関東の舞台は前回2018年と同じ8強止まり。しかし強豪との対戦で見えた課題は、すなわち収穫でもある。「来夏の夏に向け、また一から練習」と桜井。洲永も「変化球の質を高め、大一番こそ輝くエースになる」と再起を誓った。(加藤竜矢)



8回1失点と好投した白鷲足利の先発秩父IIエイシエックスタジアム、鈴木航撮影

軟式野球 秋季関東高校

第5回秋季関東高校軟式野球大会第3日は29日、宇都宮市のエイシエックスタジアム(県営本球場)で準決勝2試合が行われ、本県2位の白鷲足利は三浦学苑(神奈川県)に0-1で敗れ、2年連続の決勝進出はならなかった。
白鷲足利先発の秩父啓斗は四回に2死から連打を浴びて先制されたものの、8回を6安打1失点。打線は散発5安打と好投の秩父を援護できなかった。
▽準決勝
白鷲足利(本県2位) 0000000000
0001000000X10
三浦学苑(神奈川県) 0000000000
(白)秩父、宮田、秩父I吉永(三) 出口一権田

栃木

一勝したい方が上だったポインコーナー前に凡打を太主将は「た」と振りかけた先発秩士なかつたそれでも私たちは成長
Jリーグ理事会を開
ボールドリー
来季Jリー
まで承認し
11月24日
終了時点で

堀江(文星)「まず支配下」 育成2位、巨人指名あいさつ



プロ野球ドラフト会議で巨人から育成2位で指名を受けた文星大付高の堀江正太郎投手(18)が29日、同校で球団を受けた。うやく実感

トクグロスに田勝(那須)大会で初めたと満足
県知事斎4位、グラは2位、3涙をのんで
午後のは中コース